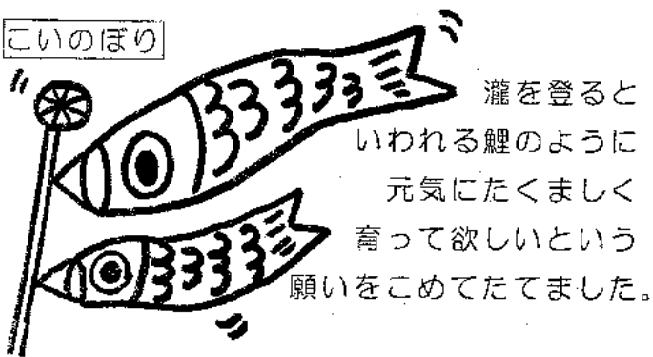


# 5月5日は こどもの日

端午の節句と言われ、古来、邪気を払う為に菖蒲やよもぎを軒にさし、ちまきや柏餅を食べる習慣がありました。この時期は『菖蒲の季節』なので、『菖蒲』と『勝負』が語呂合わせとなって、子どもの成長を願ったといわれています。

## こいのぼり



瀧を登るといわれる鯉のように  
元気にたくましく  
育って欲しいという  
願いをこめてたてました。

しょうぶ 5月5日に葉をお風呂に入れます。

♪♪げんきに歌おう♪

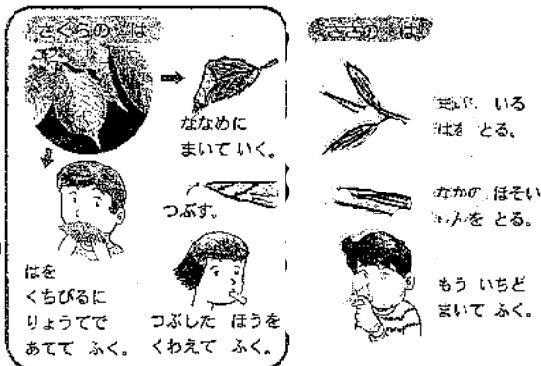
## こいのぼり

やねよりたかい こいのぼり  
おおきいまごいは おとうさん  
ちいさいひごいは こどもたち  
おもしろそうに およいでる

新緑が美しいですね。  
爽やかな風を感じてあそびましょう！

## 草笛をつくってみよう

どんな音がするかなあ～

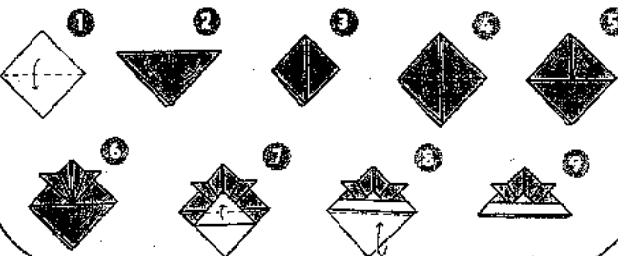


いろいろなはっぱで試してごらん！



## かぶどをつくらう

広げた新聞紙を正方形に切り、  
数字の順番に折っていきます。



## 本が好きな子に！

～もともと絵本が嫌いな  
子どもはいない～

★良い本を選んであげましょう！

親子三代、子どもたちによって愛され守られてきた本が沢山あります。「私たちの選んだ子どもの本」(東京子ども図書館)などのリストを参考に、子どもに本を読んであげるのが良いでしょう。

★10歳までは読み聞かせをしましょう！

読み聞かせは聞く力・語る力・読む力・書く力がつきます。

★心をこめて読んであげましょう！

ゆっくり声をあまり変えず、読んでいる最中も、読み終えてからも質問、説明したりせず、書いてある通りに読むと良いですね。

★毎日読んであげましょう！

嬉しくって楽しくなってしまう本や、言葉をたくさん読んであげる事が、生きていくエネルギーになります。

参考：絵本作家 齋藤惇夫氏 講演会より

★保育園で人気のある本★

0歳児 くっくくく/長谷川節子 文

2歳児 三びきのやぎのがらがらどん/北欧民話